



## 陶芸の里あすかの 「高隈焼」

高隈焼は、高隈連峰の麓、自然豊かな地にある「陶芸の里あすか」の窯元で作られています。高隈焼の特長は、その味わいのある色味。特に、黒は鮮やかでありながら重厚感があります。これらの発色に使われているのが、高隈山中にある鉄を多く含んだ鉱物「鬼板おにいた」です。鬼板を砕いて粉にし、灰などと混ぜて作った「釉薬ゆうやく」というもの

「陶芸の里あすか」は高隈焼の販売コーナーや絵画、書、工芸品などを展示できる貸ギャラリーのほか、手作りランチを楽しめるレストランも併設しています。体験陶芸教室も開催しており、陶芸の世界を体感することができます。

で色を付けます。高隈で採れたものを使って作り上げることから「高隈焼」という名前が付けられました。

高隈焼の窯元が作られたのは平成6年。霧島や桜島の窯元で修行をした桑原武満くわはらたけみちさんが設立しました。窯元では粘土の成型から絵付け、焼きの作業全てを桑原さん一人で行っています。「芸術的な作品を生み出す創作活動は苦しいと感じるときもあります。しかし、今までにないものを作り上げるために何度も試行錯誤を繰り返すことはとても面白いです」と話す桑原さん。現状に満足せず、常に研究を重ねて新しいものを追い求める。桑原さんの挑戦に終わりはありません。



陶芸の里あすか  
(花岡町 4555)  
Tel 0994-46-2474



### 編集後記



**自** 在なタッチで、これまで多くの作品を描いてきた本村さん。優しい人柄が印象的で描かれているキャラクターには、本村さんの人柄が表れているように感じました。(徳永)  
**よ** しづきの奇跡の水の輪っかかな。」今号の水特集にちなんで撮影した奇跡の輪っか「ウォータークラウン」は、約1,500枚撮った中の厳選の1枚です。(楢間)

**研** 究や実験など理科が大好きで、将来の夢は科学者という南園さん。取材の際は、元気良きはきはきとお話してくれました。ちなみに私は理科が苦手デス! (上古殿)

**究** 極の逸品を目指して作品の制作に取り組む桑原さん。優しい雰囲気のある、陶芸に対する熱い思いに触れ、芸術の奥深さ、面白さを感じることができました。(池之上)

※キリトリ線

## お便り&メッセージ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽選・賞品(賞品引換券)の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。